

平成30年度いわて若者カフェ「カフェマスター」

	氏名	略歴
	釜石市総務企画部 オープンシティ推進室 室長 石井 重成	経営コンサルティング会社勤務を経て、震災を機に釜石市へ移住。地方創生ビジョン「オープンシティ戦略」を立案し、半官半民の地域コーディネーター「釜援隊」や、グローバル金融機関と連携した高校生キャリア教育「釜石コンパス」、広域連携による移住・起業プログラム「ローカルベンチャー」など、多様な官民パートナーシップを推進。総務省地域情報化アドバイザー、内閣官房シェアリングエコノミー伝道師。
	(株)COKAGE STUDIO 代表取締役 川島佳輔	奥州市出身。「住みたい街づくりと帰りたい地元づくり」をビジョンにウェブマガジン「奥州ライフ」を運営、地域の魅力発信を通じて地元活性化に取り組む。フリーランスデザイナーとして活動した後、奥州市でカフェと託児所が併設された〈cafe&living UCHIDA〉をオープン。
	(一社) SAVE TAKATA 代表理事/CEO 佐々木 信秋	陸前高田市出身。イベントとWeb制作の起業を経て、東日本大震災以降Uターン。「地域課題を解決するしくみをつくる」ことを目的としたNPOを創業。①課題解決の手法を解決する②手法を担うひと・チームをつくることを多用な分野で展開。伴走型コンサルタントとして事業計画から予算調達、広報物制作、現場の支援まで幅広く活動をしている。
	(一財) 北上市文化創造 職員 千葉 真弓	東京都八王子市出身。平成15年にさくらホールのオープニングスタッフとして北上に移住。さくらホールでの各種イベントの企画運営のほか、ホールの外に積極的に出るクラシック音楽の「アウトリーチ」にも取り組み、これまで110回以上開催している。文化芸術による多様性のある地域づくりに取り組む。
	釜石リージョナルコー ディネーター協議会(釜 援隊) 隊員 手塚 さや香	さいたま市出身。大手新聞社記者を経て、平成26年釜援隊に加入。釜石地方森林組合で人材育成事業、森林体験受入れ、釜石大槌産材の高付加価値化に取り組む。Uターンの友人2人とともに「岩手移住計画」を発足し、移住者同志の交流会や定住に向けたサポート活動を行っている。
	コモン・クリエイティ ブ・ディレクター 二宮 彩乃	一関市出身。うみやまのあいだ、あめつちのからだ代表。演劇の劇作・演出を経て、震災後にUターン。自身のプロデュース企画のほか、小中学校での演劇コミュニケーションプログラムに精力的に取り組む。近年は演劇創作のプロセスを生かし、見えないものを形にするコモン・クリエイティブ・ディレクターとして、民俗芸能や震災の記憶などのプロジェクトを立ち上げ、活動している。
	NPO法人ゴーフォワード ジャパン 理事/ITアドバイザー 野村 行憲	紫波町出身。県内の情報システム会社に勤務する傍ら、岩手大学で情報システム工学の非常勤講師を担当。H29年定年退職後NPO法人の理事兼ITアドバイザーとして就任し、IT人材育成事業等のサービスを展開。H30年5月からは、岩手県立産業技術短期大学の非常勤講師(情報工学概論及び通信工学担当)としても活躍中。
	焙茶工房しゃおしゃん 店主 前田 千香子	盛岡市出身、雫石町在住。県職員を退職し、台湾・中国などに滞在、中国茶の製茶・鑑定・焙煎の基礎を学んだ後、「焙茶工房しゃおしゃん」を開業。中国茶や気仙茶の焙煎加工・販売のほか、出張お茶講座などを行っている。2017年からは中国語通訳も兼業。
	(株)浄法寺漆産業 代表取締役 松沢 卓生	盛岡市出身。二戸地方振興局への転勤をきっかけに浄法寺漆と出会い、平成21年、岩手県庁を退職後、漆文化の継承と革新、漆産業の復興を目指し浄法寺漆産業を創業。国内に留まらず、海外の展示会などにも参加し、浄法寺漆の普及に取り組んでいる。
	スターブリッジいわて(株) 代表取締役 茂庭 裕之	花巻市出身。東京のIT企業に就職後、Uターンし、平成24年3月に「スターブリッジいわて(株)」を創業。岩手の県産品から厳選した“いわてのほんとうにいいもの”を販売するサイト「IWATE STAR BRAND」の運営や、地元企業の人材不足を解決するため、IT・業務改善のコンサルティング事業を展開。